

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成29年9月22日(金) 13:30~14:20

学 級 1年B組(男子19名 女子10名 計29名)

授業者 教諭 佐々木 洸美

1 単元名 スピーチ名人になろう! ~ことわざ編~

主教材 「具体例を挙げて伝えよう 「ことわざ」スピーチ」 (東京書籍 国語1)

2 単元について

(1) 教材観

本単元の指導事項は、中学校学習指導要領A話すこと・聞くこと(第1学年)の指導事項イ「全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。」にあたるとともに、ウ「話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。」に対応した教材である。スピーチとは、大勢の前で自分の意見や主張を伝えることである。また、教科書に「ことわざ」が使われているが、「ことわざ」は生徒にとって身近な言葉もあるが、知らない言葉もある。その「ことわざ」を利用し、身近な具体例を入れることによって、相手に分かりやすく伝えることができるようになる。さらに、友達のアドバイスを聞いて構成やスピーチの仕方を考えることができる有意義な教材である。

(2) 生徒観

諸調査の結果を見てみると、「聞く」ということには関心を持っているが、具体的に自分の考えを伝えることを苦手としている生徒が多い。そこで、日頃の授業ではペアやグループ活動を入れ、自分の考えと他者の考えに触れ交流し、互いの考えの共通点や相違点を整理する機会を大切にしている。今までの生徒の既習事項として、説明文の単元において、序論、本論、結論の役割や実際に本文を大きく三つに分けさせる授業を行っている。また、前単元の「順序立てて説明する」という単元では、分かりやすく説明するためにはどのような工夫があるのかを考えた。つなぐ言葉や内容によって段落を分けることの他に、新聞記事を意味段落毎にバラバラにして組み立てさせる授業を行うことによって、読み手を引きつける構成の工夫を学習している。

(3) 指導観

本単元の指導にあたり、特に安心して「話すこと」ができるように、スピーチのための構成メモを練り上げることを大切にしたい。そのために個人で構成メモを書くことはもちろんのことだが、自分が書いたものをグループで交流し、自分のスピーチに自信を持たせたい。また、発表の場面において、聞き手は「ことわざ」の意味を理解するだけでなく、発表者のスピーチの構成や話し方などを聞くことを大切にしたい。また、生徒が本単元で学んだことが日常生活や学校生活に活かすことができるように振り返りの場面では、学んだことをこれからどう活かしていきたいのかを考えさせたい。

3 単元の指導目標および評価規準

(1) 指導目標

- ① 目的や場面に応じ、構成を工夫して話し、意図を考えながら聞くことができるようにする。
【国語への関心・意欲・態度】
- ② 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成させ、相手の反応を踏まえながら話すことができるようにする。
【話すこと・聞くこと (イ)】
- ③ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すことができるようにする。
【話すこと・聞くこと (ウ)】
- ④ 話したり聞いたりして、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話の中の語彙に関心を持たせる。
【言語についての知識・理解・技能 (イ (ウ))】

(2) 評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|---------------------------------------|---|--|
| ・目的や場面に応じ、構成を工夫して話し、意図を考えながら聞こうとしている。 | ・全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、話している。(イ) ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話している。(ウ) | ・話したり聞いたりして、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話の中の語彙に関心を持とうとしている。(イ (ウ)) |

4 指導計画 (5時間扱い)

| 時 | 学習目標 | 言語活動に関する留意点 | 評価規準 |
|---|---|--|--|
| 1 | 「ことわざ」スピーチをするために、スピーチにはどのような話し方や内容が必要か考えよう。 | ・単元の目標と単元の流れを理解する。 ・スピーチにはどのような話し方や内容が必要かまとめる。 ・自分自身が単元でどんな力を身につけたいか考える。 | ・自分の普段の話し方とスピーチに必要な話し方を比較し、聞こうとしている。【関】 ・話す速度や音量、抑揚や緩急をつけて聞いている。【話】 |
| 2 | 「ことわざ」スピーチをするために、スピーチの材料を集め、土台を完成させよう。 | ・ことわざを調べ、具体例を考える。 ・具体例が意味と合っているか、他にも具体例が考えられないのかグループで交流する。 | ・話したり聞いたりして、語彙に関心を持とうとしている。【知】 |
| 3 | 「ことわざ」スピーチをするために、スピーチに活かすことができる構成メモを作ろう。 | ・前時の材料を基に構成メモを作る。 ・順序立てて話を組み立てるために構成を考える。 | ・相手に伝わるスピーチをするために構成を考えている。【関・話】 |

| | | | |
|-------------|--|---|---|
| 4 本 時 | 「ことわざ」スピーチを成功させるために、グループで協力し、よりよいスピーチを作ろう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・内容だけではなく話し方についてもグループで交流する。 ・どう直せばよいのかよりよいスピーチにするために考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話の構成を工夫し、話す速度や音量、語句など聞く人を考え話している。【話・言】 ・発表者の意図を考えながら聞くようにしている。【関】 |
| 5 | 今までの練習を活かして、「ことわざ」スピーチをし、自分の話し方がどのように変化したか比較しよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して、どのような場面で活かしていきたいか振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話の構成を工夫し、話す速度や音量、語句など聞く人を考え話している。【話】 ・日常生活にどのように活かしていきたいのか考えようとしている。【関】 |

5 本時の指導計画（4／5時）

（1）指導目標

- ・話の構成を工夫し、聞く人を考えて話すことができるようにする。 【話すこと・聞くこと】

（2）本校の研究主題について

| |
|--|
| <p>研究主題</p> <p>学び合い、考えを深める生徒の育成 ～ 学びの場における言語活動のあり方を通して ～</p> |
|--|

【視点1】学習過程における言語活動の重点化（教師と生徒）

- ・導入の場面で、スピーチ評価の観点の項目を具体的に確認し、本時の学習の見通しを持たせる。

【視点2】学び合いの場における言語活動の工夫（生徒と生徒）

- ・よりよい「ことわざ」スピーチにするために、グループで協力しアドバイスをし合う。
- 役割確認のときにアドバイスの仕方についてのモデルも示し、具体的にどのようにアドバイスをするのか確認する。

- ・グループは3～4人グループとし、「話し手」、「聞き手」、「観察者」という役割をそれぞれに与えとする。（※基本は3人グループで構成する。しかし4人グループの場合は、「観察者」の役割を2人とする。）

「話し手」…「聞き手」を意識した話し方をする。

「聞き手」…「話し手」が話しやすいような反応を返す。

「観察者」…発表者の工夫を観る。

- ・「聞き手」、「観察者」とともに、発表者がスピーチし終わったら、アドバイスを発表者に伝える。
- ・発表者はアドバイスを学習シートに記入する。

(3) 本時の展開

| 段階 | 学習内容 | 生徒の学習活動 | ◆評価基準 ・方法等 |
|-----------|--|--|--|
| 導入 5分 | <p>1. 前時の確認をし、本時の学習の見通しをもつ。</p> | <p>・よりよいスピーチの条件を確認する。</p> <div data-bbox="560 331 1051 734" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【スピーチの評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りやすい話し方をしているか。 ・具体例を入れ、順序立てて話しているか。 ・相手にわかりやすい語句の選択、言葉遣いをしているか。 ・原稿を見ないで、聞く人を見て話しているか。 </div> <p>・本時の学習課題を確認する。</p> | <div data-bbox="1070 241 1214 282" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>視点1</p> </div> <p>前時の学習を確認し、次時の発表に繋がる学習であることを見通す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートの項目を確認する。(紙板書) |
| | <p>【学習課題】</p> <p>グループで協力し、よりよいスピーチを作ろう。</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の進め方を紙板書で提示する。 <div data-bbox="1070 1413 1214 1453" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>視点2</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの学び合い。 ・よりよいスピーチするために話し方や構成についてアドバイスしあう。 <p>◆グループでの活動(関)</p> |
| 展開 35分 | <p>2. 「話し手」、「聞き手」、「観察者」の役割を確認する。</p> <div data-bbox="209 1077 624 1424" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(グループの役割)</p> <p>「話し手」…「聞き手」を意識した話し方をする。</p> <p>「聞き手」…「話し手」が話しやすいような反応を返す。</p> <p>「観察者」…発表者の工夫を観る。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの役割を確認する。 ・アドバイスの仕方、もらい方のモデルを示す。 <div data-bbox="643 1133 1032 1301" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈話し合いのルール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成メモを真ん中に置く。 ・必ずアドバイスを伝えること。 </div> | |
| | <p>3. よりよいスピーチするためにグループで交流する。</p> <div data-bbox="209 1563 624 1962" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(つまづきそうな生徒の予想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿を見ないで話せていない。 ・間の取り方に気をつけて話す。 ・〇〇の語句をもっとわかりやすい言葉にしたいけど、見つからない。 ・構成はこれでいいのか、アドバイスが欲しい。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチを聞いて、よりよいスピーチするためにアドバイスをする。 ・もらったアドバイスをシートに記入する。 | |

| | | | |
|-----------------------------|--|--|---|
| <p>終 末 10 分</p> | <p>4. 本時のまとめを行う。</p> <p>5. 本時の振り返りをする。</p> <p>6. 次時の学習の見通しを持つ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・他者のアドバイスをもちに、構成や内容、話し方を考える。 ・自分にとってよりよいスピーチにするために必要なことは何かをまとめる。 ・グループの人に再びスピーチをする。 ・振り返りシートに本時の学習で分かったこと・次に活かしたいことを書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習シートにまとめる。 ◆学習シートの記述（話・聞） ・アドバイスされたことをもとにもう一度練習する。 ◆振り返りの記述（関） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><振り返りの場面で使用して欲しい学習用語></p> <p>スピーチ、構成、話し方</p> </div> |
|-----------------------------|--|--|---|